

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (甲信越)	◎	一般小売店〔家電〕（経営者）	・周りの環境や景気も、余り良いとは感じられないが、一部の企業では良いようである。
	◎	スナック（経営者）	・新型コロナウイルス発生前と同じ水準までは戻らないと覚悟はしているが、最悪の状況は終わったと思っている。頑張って当たり前の日常を取り戻していきたい。
	◎	都市型ホテル（スタッフ）	・Go To Travelキャンペーンの実施に非常に期待している。前年実施時には明らかに伸長したので、実施されれば確実に良くなる業種である。それ以外にも、状況は日に日に良くなっているため、新型コロナウイルスの感染状況さえ悪化しなければ、良くなる状況が続いていく。
	◎	その他サービス〔葬祭業〕（経営者）	・今月は寺からの営業が2件あった。葬儀に使ってくれないかというものである。新型コロナウイルスの影響で、どこも大変なようである。
	○	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの感染状況も大分落ち着いているので、来年1月からはかなり良くなっていくのではないかと期待している。
	○	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が落ち着いた現状のまま年末年始を迎えたいと甘い期待を持っている。
	○	百貨店（店長）	・新型コロナウイルス次第のところはあるが、旅行に行くからと、服やバッグ等を買求める客が増えている。通常営業に戻って、催事も予定どおり開催されているので、今後良くなるのではないかと。
	○	スーパー（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大第6波が来ずに、ワクチンを3回接種すれば、景気は良くなる。月末になって雪が降ったが、スキー場にも客が来れば、景気も良くなる。
	○	コンビニ（経営者）	・年末商戦で、やや良くなる。
	○	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスも落ち着き、Go Toキャンペーンなどが始まれば外出する人達が増えてくる。今まで密を避けるためにできなかったことができるようになり、人流が戻りつつあるので少しは良くなる。
	○	高級レストラン（経営者）	・年末年始に向かい、新型コロナウイルスの感染拡大第6波が小さく済めば、この先の景気は更に良くなる。
	○	一般レストラン（経営者）	・今の流れでいけば、上向きに転じそうである。
	○	都市型ホテル（スタッフ）	・今月ほど売上が上がる期待はしていないが、Go To Travelキャンペーンの再開が2月から予定されており、また、当県独自の県民割キャンペーンは、1月まで延長されそうである。そういった需要喚起が見込まれる。
	○	旅行代理店（副支店長）	・半導体不足による生産の遅れや、原油高騰による物価上昇で、旅行消費にも影響が出る可能性が高い。特に、企業の団体旅行への影響を懸念するが、新型コロナウイルスの感染状況が減少傾向のまま継続されれば、現状よりは回復する。
	○	タクシー運転手	・現状、売上は前年比105%くらいである。しかし、前々年に比べればまだまだ復活していない。
	○	通信会社（社員）	・年度末は最も人が動く時期なので、例年どおりであれば加入増は見込める。ただし、これまでのマイナスを取り返すには更なる効果的な方策が必要である。
	○	遊園地（職員）	・感染対策を徹底し万全な受入体制を整えるとともに、積極的な集客施策の実施や情報発信を行うことで、多くの客の来園を期待する。
	□	一般小売店〔家電〕（経営者）	・年末商戦や季節商材の動きに期待したいが、客の消費意欲は見えてこない。
	□	一般小売店〔薬〕（経営者）	・新型コロナウイルスの終息が完全ではなく、客足が戻らないのが変わらない理由である。
	□	スーパー（経営者）	・外食や観光等は緩やかに回復すると思うが、依然として新型コロナウイルス感染拡大第6波への警戒感は大い。
□	コンビニ（経営者）	・毎年、寒くなるにつれて客の動きが徐々に悪くなるので、さほど売上は望めない。	
□	コンビニ（経営者）	・当店の場合、売上が減ったままで行くような気がする。	
□	コンビニ（店長）	・売上、来客数が落ちている理由が今のところはっきり分からない。このまま特別変わらないような気がする。	

□	衣料品専門店（経営者）	・冬を迎えるため、人が動かなくなり消費もしなくなる。
□	家電量販店（店長）	・政府の景気刺激施策が必要である。
□	乗用車販売店（経営者）	・部品不足解消は不透明な状況で、需要期の新車販売への影響が懸念される。
□	自動車備品販売店（従業員）	・半導体不足の影響もいまだにあり、商材不足もあるので、まだ景気が良くなるとはいえない。
□	一般レストラン（経営者）	・極端な新型コロナウイルスの新規感染者数の減少に皆、戸惑っているように思える。安どしている様子も見受けられるが、新変異株の報道もされ、まだ安心して動ける状況ではないと、様子見の状況ではないか。
□	スナック（経営者）	・先行きも正直分からないが、今の景気の悪さが変わらないという回答である。
□	スナック（経営者）	・新型コロナウイルスの新規陽性者がかなり減ってきているので、街角には客が戻ってきている傾向は確かにある。ただし、この1年半の間で、飲食店は大幅痛めつけられて、従業員も抜けてしまったので、いざ、年末の忘年会シーズンに入ったとしても、十分に来客をさばけるだけの人材が不足していることから、すぐには売上につながらない。
□	観光型旅館（経営者）	・良い要因としては、新たに隣接県も含めた県民割が始まるようであり、リベンジ需要による動きが続くのではないかと。悪い要因としては、忘新年会の季節だが予定がないことや、現在実施中の県民割引の予算枠を使い切ったため、県民割引を期待していた方からの予約が減りそうなことである。このため、結果としては現状維持を予想している。
□	通信会社（経営者）	・物価上昇が現実となり、今後節約志向が強まる可能性が高く、厳しさが増してくる。
□	観光名所（職員）	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いてきた現在、今まで旅行を我慢していたうっぶんもあり、一定の需要はある。ただし、収入減や燃料価格の高騰等、マイナス面もあり、すぐに景気が好転するとは考えにくい。
□	その他レジャー施設 [ボウリング場]（経営者）	・新型コロナウイルス新規感染者数は減少傾向で明るい兆しではあるが、新変異株の発生等、まだまだ安心というわけではない。厳しい状況はまだしばらく続く。
□	設計事務所（経営者）	・すぐに実施設計に移れる物件が少ない。
□	住宅販売会社（経営者）	・当別荘地が、地方移住や2拠点居住指向の対象にもなっており、資料請求や現地見学希望が堅調である。
▲	商店街（代表者）	・流れを変えるのは簡単ではない。
▲	百貨店（営業担当）	・ガソリン価格の高騰や生活に直結する食品値上げ等、物価が上昇しているため、どうしても購入に慎重にならざるを得ない。
▲	スーパー（店長）	・新変異株が発見され、外国での新型コロナウイルス新規感染者も増えているなか、国内でも感染拡大第6波を見据えた警戒した行動になる。
▲	コンビニ（エリア担当）	・天候の状況や、新型コロナウイルスの感染再拡大の懸念があるため、やや悪くなる。
▲	その他専門店 [酒]（店長）	・新型コロナウイルスの感染拡大第6波が世界中に広まってきている現状から、2～3か月後にはかなり深刻な状態になると懸念しており、消費も落ちるのではないかと。また飲食店の時短要請等、いろいろな規制が出されて、厳しい状態に戻っていると予測している。
▲	ゴルフ場（経営者）	・冬の営業を迎えるにあたり、営業車、コース管理車の燃料、また、ボイラー燃料等が増えるため、今回の燃料費高騰は非常に厳しい。
×	スーパー（副店長）	・皆と同じ理由だと思うが、世の中は全て新型コロナウイルスの感染状況次第である。いくら我が国で新規感染者が減っても、世界的にみれば新変異株の発生により、これからもまだ不安と心配の日々が続く。景気がどうこうという話ではない。
×	衣料品専門店（経営者）	・前年にも増して、新型コロナウイルスの影響を強く受けている。景気の回復はなかなか見込めない。
×	都市型ホテル（従業員）	・冬期に入るため、悪くなる。
×	ゴルフ場（経営者）	・デフレから脱却する決め手に欠けている。

企業 動向 関連 (甲信越)	◎	金属製品製造業（総務担当）	・半導体不足のため、良くなる。
	◎	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	・人の動きや顧客の購入状況を見ると、新型コロナウイルスの感染拡大第6波が来ない限り、景気は確実に回復する。
	○	食料品製造業（営業統括）	・出荷状況は順調に回復しており、このまま推移すれば増益が見込まれる。ただし、新たに南アフリカで発生した新型コロナウイルスの新変異株の拡大いかんによっては、景気が左右されると案じられる。
	○	一般機械器具製造業（経営者）	・受注予測が上向いてきている。ただし、直近では確定時に変動する傾向があるため、不透明な部分がある。
	○	金融業（経営企画担当）	・新型コロナウイルス新規感染者が大幅に減少してきており、徐々にではあるが、景気動向は良くなってくると考える。しかし、完全に終息したわけではないので、これからも注視する必要がある。
	○	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・国内でも新型コロナウイルスの第6波や欧州を中心にした変異株の感染拡大、ガソリン価格上昇による運送費等の経費増加情報等、不安要素はある。ただし、今までの経験則から政府も早めに手を打つと考えている。そうしたことから、緊急事態宣言等がたとえ発出されても、今までのような長期間にはならず、経済への影響も軽微に抑えられるのではないかとみている。
	□	窯業・土石製品製造業（経営者）	・SNS等で連日PRしているが、サイトへのアクセスはあるものの、受注にはつながらない。製品受注も全く予想が立たない状態で、相変わらず先行きは不透明である。
	□	電気機械器具製造業（経営者）	・受注量が増えたとしても電子部品の供給が追い付かないので、良くなるとも言切れない。
	□	建設業（経営者）	・資材価格の高騰や納期の遅れが解消しなければ、景気の回復には時間が掛かると思われる。
	▲	食料品製造業（製造担当）	・新変異株の影響で、外出に気を付けるようになり、また人の動きは悪くなる。
	▲	電気機械器具製造業（営業担当）	・部品や材料の不足が、受注、生産に大きく影響している。
	▲	金融業（調査担当）	・製造業の半導体や部品不足の影響が懸念されるほか、新型コロナウイルスの新変異株の動きも、消費者マインドを悪化させる可能性がある。
	×	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・毎月の資金繰りが大変である。
	雇用 関連 (甲信越)	◎	職業安定所（職員）
○		求人情報誌製作会社（経営者）	・新型コロナウイルスの新規感染者が今後も現状のまま落ち着いているようなら、飲食、観光、サービス業等の求人が増加し、景気も多少は上向きになってくる。
○		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減少しているため、経済が動き出している。
□		人材派遣会社（営業担当）	・正社員も含めて長期間の安定した収入の予想がつかないため、生活設計ができず消費に回らないので、変わらない。
□		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの影響が減少しても、原油価格高騰等が企業の利益を圧迫している状況は、すぐには改善されない。
▲		—	—
×		—	—